

旅の終わりを探して

Looking for Masuda-city



益田市  
(島根県)

# 益田市

次は、あなたの旅へ。



○三里ヶ浜海岸



# 高津川

人麿が、雪舟が、  
旅の終わりに選んだのは、  
豊かな水をたたえた川と、  
美しい緑が広がる山々と、  
中国大陸とつながる  
海のある場所でした。  
人はなぜ旅に出るのか。  
それは自分にとって、  
最も心地よい場所を  
探すためなのかもしれません。

# Masuda-city Map



## 柿本人麩スポット

- ① 戸田柿本神社
- ② 高津柿本神社
- ③ 県立万葉公園
- ④ 鴨島跡展望地

## 雪舟スポット

- ① 雪舟の郷記念館
- ② 大喜庵
- ③ 萬福寺(庭園)
- ④ 医光寺(庭園)

## その他の主なスポット

- ① 島根県芸術文化センター グラントフ
- ② 美都温泉 湯元館
- ③ 匹見峡温泉 やすらぎの湯
- ④ 荒磯温泉 荒磯館
- ⑤ 益田市立歴史民俗資料館
- ⑥ 美濃地屋敷
- ⑦ 秦記念館

## 益田氏スポット

- ① 三宅御土居跡
- ② 染羽天石勝神社
- ③ 医光寺(総門)
- ④ 雪舟の郷記念館



区間	交通機関	所要時間	区間	交通機関	所要時間
新山口→益田	JR山口線・特急	1:40	下関→益田 [小郡IC・津和野経由]	自動車	3:00
	自動車	1:30	益田→東萩	JR山陰本線・特急	1:00
広島→益田 [六日市経由]	石見交通バス	3:00	益田→津和野	JR山口線・特急	0:30
広島→益田 [浜田自動車道経由]	自動車	2:00	益田→匹見峡	石見交通バス	1:20
広島→益田 [戸河内IC・三段峠経由]	自動車	2:00	益田→長門市	自動車	1:30
広島→益田 [六日市IC・日原経由]	自動車	2:30	大阪→益田	飛行機	1:00
広島→益田 [岩国IC・日原経由]	自動車	3:00	益田→大田	自動車	5:30
益田→大田 [石見銀山] [国道9号]	自動車	2:30	東京→益田	飛行機	1:30

**宿泊のお問い合わせ**  
 ● 益田市観光協会  
 Tel. (0856) 22-7120

**観光のお問い合わせ**  
 ● 益田市観光協会  
 Tel. (0856) 22-7120  
 ● 萩・石見空港観光案内所  
 Tel. (0856) 24-0038  
 ● 産業経済部文化交際課  
 Tel. (0856) 31-0331



山の上、高津川の源流へ。  
万葉の時代も同じように、  
清浄な水が  
湧き出ていたのでしょうか。  
川から海へ、海から空へ、  
空から大地へ、大地から川へ。  
旅の終わりは、  
まだ見つからない。  
しかし、私たちは、  
旅に行った場所に  
また「帰りたい」と、  
思うことがあるのです。



秋の匹見峡



清流に集うオシドリ

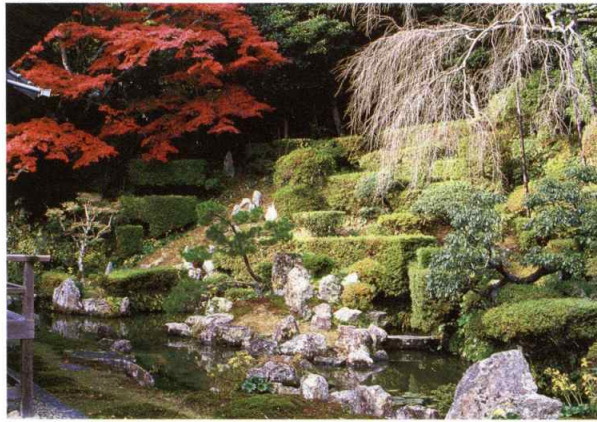
# 匹見峡

## 偉人たちの 終着地点へ

飛鳥時代の歌聖・柿本人麿は、幾度も故郷である石見の歌を詠んでいた。室町時代の画聖・雪舟も、中国での修業を終えて帰国した後、益田氏の招きで崇観寺(現医光寺)の七代目住職となった。彼らの

人生の終焉の地はこの石見(益田市)が有力だったとされている。そして彼らゆかりの神社や庭園を眺めてみれば、石見が、ここで旅を終えたいと思える大きな魅力を持つていたことがわかる。

## Culture 文化



医光寺の雪舟庭園



益田糸あやつり人形



高津柿本神社

## 人に守られる 風景がある

益田市の北東にある唐音の蛇岩のそばに、水仙の香りを漂わせる公園がある。これは自生した水仙に、市民が協力して植えた水仙が加わったものだ。水仙が咲く12月から1月には、むせかえるような花の香りが辺りを包み、唐音海岸の奇景と相まって、大きな景色が広がる。市民が自分たちの手で、風景を守り大切にしているからこそ、益田市は、ずっと変わらず美しいのだ。

## Nature 自然



唐音の水仙



双川峡



中垣内の棚田

## 清らかな水が 育んだ味覚

雪舟は、水墨画を書く際に、東光寺(現在の大喜庵)に湧き出る水を好み、硯や茶の水として重宝したという。また高津川で育った鮎は益田氏が、敵対していた毛利氏と和解する際に献上したという記録が

残っている。森の栄養が、ダムなどを經由せずそのまま運ばれた沿岸では、大型のはまぐりが今なお安定して漁獲されている。水はすべてに通じ、水の美しい街は、美味しいものを育む力がある。

## Food 食



高津川の鮎



7センチ超の大きはまぐり



美都のゆず



匹見のわさび

## 旅をさらに 思い出深くする

## Iwami Kagura 石見神楽

益田市は神楽の盛んな場所だ。この地方の神楽は、石見神楽と呼ばれ、軽快なリズムと豪華絢爛な衣装で人氣が高い。石見神楽を舞う団体も数多くあり、衰退していく地方の伝統芸能の中で、石見神楽を好むファンは多く、演じる団体の層も厚い。神楽は本来、五穀豊穣に感謝して舞われるものだった。自然への畏敬の念もまた、益田市に残っている重要な財産だ。



奉納神楽



鐘馗



大蛇

# Tour Courses

偉人たちの旅の終わりを探す旅。歩きながら益田市の魅力にふれてください。



## ① 戸田柿本神社

柿本人麿出生の地とされる戸田柿本神社。人麿御童子像と付帯像が安置されている。

島根県益田市戸田町イ856

## ② 高津柿本神社

人麿終焉の地・鴨島が没した際、流れてきた人麿像を納めて再建されたという伝承がある神社。

島根県益田市高津町イ2612-1



## 柿本人麿

Kekinomoto-no  
Hiitomaro

## ③ 県立万葉公園

水と緑に囲まれた万葉公園では、花鳥風月をゆったりと楽しめる。

島根県益田市高津町イ2402-1  
TEL.0856-22-2133

## ④ 鴨島跡展望地

人麿終焉の地で、大地震により没した鴨島を望む展望地。日本海を一望できる。

島根県益田市久城町



## ① 雪舟の郷記念館

大喜庵に隣接し、雪舟と益田の歴史を展示・紹介。周辺も雪舟山水郷として整備されている。

島根県益田市乙吉町イ1149  
TEL.0856-24-0500

## ② 大喜庵

雪舟が晩年を過ごした大喜庵。硯などに愛好された霊巖水は、現在も愛好者が絶えない。

島根県益田市乙吉町



## 雪舟

Sessyu

## ③ 萬福寺(庭園)

雪舟の手による池泉回遊式兼観賞式庭園の他に、重要文化財なども数多くある。

※要入場料金  
島根県益田市東町25-33  
TEL.0856-22-0302

## ④ 医光寺(庭園)

雪舟が住職だった頃につくられた庭園は国の史跡および名勝に指定されている。

※要入場料金  
島根県益田市染羽町4-29  
TEL.0856-22-1668



## ① 三宅御土居跡

南北朝時代に築造されたといわれる益田氏の館跡。跡の保存状態が良く、史料の価値が高い。

島根県益田市三宅町

## ② 染羽天石勝神社

桃山時代の様式を伝える神殿は、国指定重要文化財。御朱印地を持った神社として有名。

島根県益田市染羽町1-60  
TEL.0856-22-3619



## 益田氏

Masudasi

## ③ 医光寺(総門)

医光寺の総門は、七尾城の大手門を江戸時代に移築したものと伝えられている。

島根県益田市染羽町4-29  
TEL.0856-22-1668

## ④ 雪舟の郷記念館 (益田兼堯像)

雪舟の筆による益田兼堯の肖像画。雪舟の郷記念館で年2回公開展示されている。

※要入場料金  
島根県益田市乙吉町イ1149  
TEL.0856-24-0500



# Other Spots

様々な旅がある益田市で、あなたのお気に入りの場所を見つけてください。



「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設、グラントウ。歴史ある石見の地で、石州の赤瓦28万枚に包まれたひととき美しい建物には、新しい文化が発信されている。



② 美都温泉 湯元館

山々に囲まれた景色の中、地下1,200mから湧き出るアルカリ天然温泉「美人湯」が楽しめる。



③ 匹見峡温泉 やすらぎの湯

裏匹見峡から流れる、広見川沿いに湧く美肌温泉。匹見峡の景色が美しい。



④ 荒磯温泉 荒磯館

日本海をのぞむ海岸に位置する由緒ある温泉。新鮮な魚介を使った料理も好評。



⑤ 益田市立歴史民俗資料館

建物は大正時代の郡役所で登録文化財。益田市の歴史、民俗関係の資料を展示。



⑥ 美濃地屋敷

近世後期の割元庄屋。長屋門をくぐると、正面には壮大な母屋がどっしりと構える。



⑦ 秦記念館

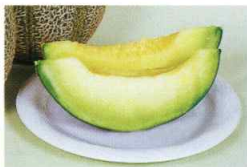
美都町出身の細菌学者・秦佐八郎博士の生涯を展示。隣には生家がある。

# Souvenir

旅を終えて味わう味覚。益田市での思い出とともに持ち帰りください。



ゆず加工品



メロン



イチゴ



デラウェア